

会社名： ^{ヤシマ} 八洲電機株式会社
 代表者名： 代表取締役社長兼グループC.O.O 清宮茂樹
 (コード： 3153 東証プライム市場)
 問合せ先： 経営統括本部 ブランド戦略ユニット ユニッタリーダー 菱山 賢
 (TEL： 03-3507-3349)

2026年3月期通期 連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2025年10月31日に公表しました2026年3月期通期の連結業績予想の修正について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1 連結業績予想の修正について

(1) 2026年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	74,000	6,600	6,700	4,600	216.04
今回修正予想 (B)	75,000	7,100	7,200	4,900	230.13
増減額 (B-A)	+ 1,000	+ 500	+ 500	+ 300	—
増減率 (%)	+ 1.4	+ 7.6	+ 7.5	+ 6.5	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期通期)	66,075	5,253	5,373	4,011	188.74
前期実績比 (%)	+ 13.5	+ 35.2	+ 34.0	+ 22.1	—

(2) 修正の理由

当連結会計年度は、2025年10月31日に連結業績予想を公表いたしましたが、公共・設備事業においてグループ連携強化の施策の結果、食品製造ライン用空調設備工事や都市再開発・工場向け変圧器の需要が好調に推移し、上下水道・空港施設など社会インフラの老朽化に伴う受変電設備更新工事なども堅調に推移しました。また、プラント事業における鉄鋼・非鉄分野のカーボンニュートラル実現に向けた生産設備の電気品更新、交通事業における安全性の向上や省エネ・サービス向上を目的とした新造車両の納入など、各事業も引き続き堅調に推移し、連結業績が予想を上回る見込みとなりました。

その結果、売上高は750億円（前年比13.5%増）、営業利益は71億円（前年比35.2%増）、経常利益は72億円（前年比34.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は49億円（前年比22.1%増）の増収増益となる見込みであり、業績予想を修正いたします。

※ 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき算定したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

以上